



堀場製作所OB会

会報

通巻53号

発行日 令和6年6月21日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 沢本 昌順

	ページ		ページ
◆研修旅行	2	○囲碁クラブ	7
○一泊研修旅行 福井	2	○東京カルチャークラブ	8
◆HOVC 活動 ボランティア部会	4	◆会社ニュース ピックアップ	9
○京都マラソンボランティア活動参加報告	4	○HORIBA Report 2023-2024	9
○桂川流域クリーン大作戦参加報告	4	○2053年に実現したい未来像	9
○鴨川クリーンハイク	4	◆寄稿	10
○工房学習活動	5	○近況報告 (小沢さん)	10
○鴨川茶店ボランティア	5	○受賞報告 (小川さん)	10
		○味どころ紹介	11
◆行事報告	5		
○春の懇親会	5	◆OB 会だより	12
◆クラブ活動報告	6	○ホームページの紹介	12
○山遊会	6	○OB 会入会手続きについて	12
○ボウリングクラブ	6	○OB 会の皆様へ	12
○カラオケクラブ	7	○寄稿について	12
		◆編集後記	12



正伝寺

京都の西賀茂に正伝寺という、臨済宗南禅寺派のお寺があります。正式名称は正伝護国禅寺という。

最寄りのバス停は神光院前で、そこから徒歩 15 分のところにあります。山門から方丈まで 250m 程度あり、都会の喧騒と切り離された静寂の場所です。中に入ると、白砂とサツキで構成された庭園があります。庭園は「獅子の児渡しの庭」と呼ばれる枯山水です。また比叡山を取り入れた借景となっており、奥行きを感じる庭の構成となっています。方丈は伏見桃山城を移築したもので重要文化財に指定されています。障壁画は狩野山楽一派の筆とされ、これも重要文化財に指定されています。今の季節は新緑が美しく、サツキも開花し、ちょうど見ごろでした。庭を眺め、しばし静寂に浸っていました。京都市内の北の端にあり、地下鉄とバスを乗り継げば、便利に行ける場所ですので、皆さん、ぜひ散策してみてください。

(三橋泰夫 記)

◆研修旅行

一泊研修旅行 福井

3月22日～23日 福井への一泊旅行を実施しました。京都駅八条口に集合し、米原駅で宮崎さん乗車、芦原温泉駅で、東京組の石川さん、林さん、そして東京での仕事を終えられた桐野さんが合流しました。芦原温泉駅はこの3月16日に北陸新幹線が延伸したばかりの駅です。東京組は延伸したばかりの北陸新幹線で参加されました。その後、豪華昼食「海鮮丼」の三国港たけ庄へ向かいました。



食事を終え、雄島へ行きました。雄島は、前回の研修旅行で訪れた東尋坊から東側に見えていた島です。橋が架けられています。天気がよく、水平線が180°以上広がっており、地球が丸いことを体感できました。島には大湊神社があり入口に鳥居があります。周囲は柱状節理の岩が取り囲み、地球の歴史を感じます。



次に、丸岡城へ行きました。丸岡城は北陸地方に唯一の現存天守です。中は急な階段で上り下りに苦勞する天守でした。



山中温泉へ入り、すぐのところに鶴仙峡の遊歩道があり、散策組は遊歩道を散策しました。遊歩道には清流が流れており、滝が何か所かあり、旅館の建物が高くそびえており、見事な峡谷でした。10名の方が参加しました。散策コースの終点に、宿泊場所である翠明があり、ここへ向かいました。散策組以外は、そのままマイクロバスで宿泊場所である翠明に行きました。米田さんはすでに翠明で待っておられ、参加者全員がそろいました。翠明では、豪華な料理が出て、食べきれない程でした。また温泉施設も豪華で十分に堪能しました。



山中温泉では幸いにも1月1日に襲った能登半島地震の被害はなかったということでした。地震による風評被害の払拭のため北陸応援割りが企画され、今回の研修旅行も対象となり、5割の補助で宿泊できました。2日目は恐竜博物館へ行きました。世界3大恐竜博物館とあって、規模も大きく、入場者も多いといった施設で、豊富な恐竜展示が見どころでした。



レストランは入場者数の多さから、整理券が必要だという情報をもらい、事前に全員の分の席を確保し、昼食をとることができました。



次に同じく北陸新幹線が延伸しリニューアルしたばかりの、福井駅でみやげを見て回りました。東京地区の方とはここで別れました。帰路につき、米原駅で米原組が下車し、残りの参加者は一路北陸自動車道を走り、京都駅八条口で解散となりました。大きなトラブルもなく、皆さん無事に帰ってきました。

参加者 16 名（五十音順 敬称略）

石川 達夫、石黒 英憲、岡田 知二、桐野 茂、酒井 俊英、沢本 昌順、近田 伯久、林 万雅、平野 彰弘、野口 進治、三橋 泰夫、宮崎 育雄、森山 晶成、山岸 豊、湯浅 一郎、米田 篤司
(三橋泰夫 記)

東京地区から参加して

東京からは林さんと私(石川)の2名が参加しました。今回の目的地は北陸(福井県、石川県)で、ちょうど一週間前に北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸したばかりというタイムリーな場所でした。東京メンバーは、その開業したばかりの北陸新幹線を利用しました。今回利用した停車駅の少ないかがやき号は、東京駅を

出発する時からほぼ満席でしたが、金沢駅で乗客の8割程度が下車してしまいました。金沢から先にも観光地は多くあるのに、少し心配になりました。3時間乗車して芦原温泉駅で下車、東京からは非常に便利になりました。京都からのメンバーと芦原温泉駅で合流。今回の訪問先は実際に訪問してみると、すべてがとても魅力的な場所でした。福井県では、雄島、丸岡城、恐竜博物館、宿泊は石川県の山中温泉です。三国港で昼食後、雄島観光へ。

東尋坊ではなく雄島、そういえば昨年東尋坊を訪問していました。雄島は海の神様の島として崇められている神秘的な島です。島では1300万年前に噴出したマグマが固まり、流紋岩の美しい縞模様が見られます。次の訪問先丸岡城の天守は江戸時代以前に建設され、一度は地震で崩れましたが、部材をそのまま使用して当時のままに修復されました。このようなお城は日本全国に12城あり「現存十二天守」と呼ばれております。北陸地方に唯一残るのが丸岡城で、国の重要文化財に指定されています。丸岡城に日本一短い手紙文があることから、城内には「一筆啓上」という日本一短い手紙のコンテストの結果が表示されておりました。メッセージを伝える1~40文字までの手紙形式で、これだけの短い文章で、心を動かされる表現ができることに感心しました。また、年齢によって、物の見方が大きく異なる点も驚きました。その後バスで移動、有志はホテル手前で下車し、山中の温泉街に沿って流れる大聖寺川の溪谷(鶴仙溪)にある遊歩道を散策してホテルに向かいました。江戸時代にここを訪れた松尾芭蕉が、あまりの美しさに滞在を延ばしたと伝えられるその景観・清流の流れによって、心が癒されました。2日目の恐竜博物館は、リニューアルされ、多くのことを学ぶことができました。私は恐竜より、地形の移り変わり、植物の進化に興味がありました。訪問先ではいろいろ学ぶこと・考えることができ、普段なかなか話すことができないメンバーとの交流、素晴らしい2日間でした。東京支部の皆様も、OB会からサポートもいただける1泊研修旅行、次回はぜひとも参加をご検討ください。最後になりましたが、毎回素晴らし企画を計画・実行いただきました幹事の皆様及び関係者の皆様に感謝いたします。(石川達夫 記)

◆HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソンボランティア活動参加報告

2月18日(日)開催の京都マラソン2024にボランティアとして参加しました。堀場製作所OB会より北川、酒井、佐々木、中村(正)、細川、宮下、李虎、笠川の8名が参加、今回が初参加の方もおられ、「宇多野病院前」(約9km地点で広沢池より東)でコース沿道整理係をしました。今年は曇り空で大変に暖かく、私達は班別に集合して作業の説明を受けた後、担当場所に三角コーン、コース区分テープ等を運び設置しました。規制状態になると、コース内に一般の方が入らないよう案内しました。最後尾のランナーが通過するまで沿道の皆さんと一緒に温かく応援しました。私たちの活動場所は上り坂のところランナーの方には大変苦しい場所でした。白バイの先導にてランナーの一団が現れると人・人の波が、ぞくぞくと続きます。以前では、コスチュームに身を包んだ姿を見かけたのですが、今回は、少なかったように思いました。また、外国の方で、国名を印刷されたシャツを着て走る方を多く見受けました。近くに高齢者の方の施設がありベランダからの応援があり、ランナーの方も手を振ってこたえておられほほえましい雰囲気でした。堀場製作所からの参加選手もおられ、声をかけていただきました。ランナーの方からもエネルギーをいただき身も心もポカポカとなり私は初めて乗る嵐電(北野線)にて帰宅しました。(笠川重美 記)



※ボランティア初参加の李虎さん

桂川流域クリーン大作戦参加報告

3月3日桂川クリーン作戦にOB会から酒井、中村(正)、北川の3名が参加しました。



前週の大雨から打って変わって、晴れの絶好のコンディションになりました。以前は松尾橋より上流でしたが、今回は下流です。その為か、紙くず、ナイロン、ペットボトル、空き缶等が多く、中にはサンダルやスキー靴の片方の大物もありました。他社の人達と楽しく1時間半、すごしました。(北川光夫 記)

鴨川クリーンハイク

4月29日(祝日)鴨川を美しくする会主催の「鴨川クリーンハイク」に参加してきました。五条大橋から丸太町橋間の約2.5kmの活動には、総勢270名でOB会から酒井、中村、岡田、笠川の4名が参加し、曇り空の中で清掃を始めました。新緑の鴨川沿い歩道を、海外からの観光客の方々とすれ違いながら垣根の中などのジュース缶やペットボトルなどのゴミを拾いました。約1時間の作業で少し汗が出てきたところでゴールの丸太町橋に到着。記念品をいただき地下鉄にて帰宅しました。(笠川重美 記)



工房学習活動

5月31日(金)生き方探求館 工房学習ボランティアに参加しました。今回は御所東小学校4年生(36名)の皆さんで、堀場製作所CCOと堀場OB会メンバーに加え、嵐山中学校2年生4人が職場体験で加わり、総勢13名でサポートしました。身近な「はかる」をテーマに堀場製品を解説され、そして温度を光で表示する温度計の組立指導となりました。全員無事完成した温度計を使って、冷たい(青色)、普通(黄色)、暖かい(赤色)とLEDが点灯することを実験されました。モノづくりを通じて子どもさんとの関わり合いができることに大変感謝しています。(笠川重美 記)



鴨川茶店ボランティア

4月6日～7日第50回鴨川茶店に参加しました。鴨川茶店は、鴨川を美しくする会と京都鴨川ライオンズクラブが主催で、毎年桜の咲く府立植物園西側「なからぎの道」賀茂川の左岸で開催されます。OB会からは6日に3名(石黒、笠川、酒井)7日には4名(中村(正)、松村、三橋、宮下)が参加、茶店の北大路橋入口付近の安全管理を担当しました。今年は桜の開花時期に気温が低かったことで、桜の花が咲いて春のお茶席にふさわしい情景でした。また、初夏を思わせる暖かい日となり、ふれあい広場では、吹奏楽、踊り、騎馬隊との撮影会などの行事が行われ、華やかな雰囲気です。沢山の観客でにぎわっていました。

(笠川重美 記)



◆行事報告

春の懇親会

4月20日(土)2024年春の懇親会を、がんこ高瀬川二条苑で盛大に開催しました。

参加者は41名でした。(笠川重美 記)



代表幹事より挨拶



乾杯
内山さん



中締め
石田さん



◆クラブ活動報告

山遊会

第74回 山遊会例会 若草山 (341.7m)

年月日 令和6年5月29日 (水) 快晴

参加者 倉原政治・丸山博・宇野久二男・下川和子・
下川博司

平成19年山遊会発足以来18年間、例会山行73回の活動を実施してきたが、在籍メンバーの平均年齢が80歳を超える現状で、従来同様の活動を続けることが難しくなってきた。そこで、4月27日(土)第13回総会を大原寂光院近くの民宿大原山荘で開催し、「山遊会」の名称はそのまま山歩きから丘や史跡巡りに方針変更することを決議した。これを機会に山遊会に入会を希望される方を大歓迎します。

まず始めに小学校の遠足で懐かしい若草山に登ることにした。近鉄京都駅ホーム8時10分集合、24分発天理行き急行に乗り西大寺駅乗り換えで奈良駅へ。奈良交通バス市内循環外回りで破石(わりいし)町下車。史跡「頭塔」を見学する。日本のピラミットとも称される土塔で奈良時代の建造という。一部崩壊して危険とのことで現在見学中止になっているが、バス停前が更地になっていて塀もないため東面がそっくり望める。次いで浮御堂を左手に春日神社へ向い10時50分若草山南ゲート到着。一人¥150.の入山料を払い整備された階段の道を東に向かい、途中向きを北に山の裏側から1重目山頂へ。2重目・3重目と登り山頂の古墳で恒例の記念写真を撮る。清少納言が「徒然草」で「うぐいすの陵」に当たるとしたこと由来して鶯塚古墳と名付けられている。昨日の線状降水帯による豪雨で空気が洗われ、眼下に大和盆地が開け、金剛山・葛城山から生駒山までのパノラマを眺めながら昼食とする。13時出発、1重目山頂まで戻り右側の道を北ゲートへ下る。14時となり午後所要のある倉原さんとはここでお別れ。3月堂・2月堂を巡り正倉院前に来たところ「正倉」の見学が出来るということで迷わず中へ。写真ではお馴染みだが実物を拝見するのは初めて、逆光ながらカメラに納める。この後旧奈良拘置支所、多聞城址を見学の予定であったが、15時を過ぎたところで以後割愛し近鉄奈良駅へ向かうことにした。

16時前国際会館行き急行に乗り帰宅しました。

(下川博司 記)



ボウリングクラブ

4月例会は中岸プロと平松コーチのハンデが楽になり、順当な優勝・2位です。アマチュアで中村まり子さんが堂々の3位、次回優勝候補です。BB賞は芦谷さんでした。NETで600超えが入賞の目安ですが、皆にチャンスはあります。

順位	氏名	Net HD	順位	氏名	Net HD
優勝	中岸プロ	651-10	7位	小林正和	543.9
2位	平松尚武	628-8	8位	山田毅	539.26
3位	中村まり子	597.53	9位	中村勝美	538-1
4位	毛利隆文	588.10	10位	鈴鹿周正	513.58
5位	長澤穰	575-2	11位	芦谷恭通	498.45
6位	永田真寿夫	571.54	12位	田中光子	485.78

(毛利隆文 記)



カラオケクラブ

4月20日(土) がんこ二条苑での懇親会終了後、3時半より【紬】にて開催。久々参加のカラオケの帝王三橋さんよりスタート、内山さん`Too Young`を披露、当会の歌姫小林明子`fall in love`を熱唱、カラオケ通の山尾さん、常連中村(正)さん、野口さん、サザン 18 番大川さんと続々エントリー、アツと言う間に時間が過ぎ青春時代を皆さんで爆唱して終会になりました。

参加:内山、大川、野口、中村(正)、山尾、分部、三橋
特別参加:松本昇三、森かれん

(小川 柁幸 記)



囲碁クラブ

2023年3月21日(火)春分の日9時30分~京都新聞本社文化ホールで開催された日本棋院主催の『京都囲碁フェスティバル大会』に東・丸山・下川・中村の4名で出場しました。10時から、高段者は7段から下は6級200人程の参加でスタートしました。段クラスの東・丸山は2勝1敗、級クラスの下川・中村は1勝2敗の結果となり、それぞれ賞品を貰って、次回9月頃に総会を計画する事を申し合わせて、5時頃帰宅しました。

囲碁を始めてみたいと思ってる方は連絡ください。

(中村正博 記)



◆クラブ活動報告 (つづき)

東京カルチャークラブ

4月8日に佐藤さん、尾崎さん、横山さん、横浜さん、加藤さんと石川の6名が参加して、埼玉県にある首都圏外郭放水路を見学してきました。

このエリアは江戸川、荒川、利根川という大河川に囲まれていて、低くて平坦な土地のため（江戸川と付近の河川の水面差は約5mもあります）川の水も流れにくく、一度大雨が降ると川の水位が高い状態が続くので、昔から何度も洪水に悩まされてきました。このエリアを流れる中小河川が増水したとき、ゆとりのある江戸川へと流すことを目的として、1993年3月に着工し、2002年6月に一部供用を開始した後、2006年6月から全区間が完成し運用が開始されました（総工費2300億円）。世界最大級の首都圏外郭放水路の完成によって、周辺地域で浸水する家屋の戸数や面積は大幅に減り、長年洪水に悩まされてきた流域の被害を大きく軽減しました。5つの立坑（川の水を取り込む流入施設）とそれを結ぶトンネル（全長6.3Km）、第1立坑までたどり着いた水の勢いを弱める調圧水槽・通称「地下神殿」、その水をポンプで江戸川に排出する排水機場から構成されています。今回見学した調圧水槽は、高さ18m、重量500tの巨大な柱が59本そびえたつ地下空間で、その様子が神殿のように見えるため地下神殿と呼ばれています。施設の説明を聞き、調圧水槽入口から22m下りていきます。

そのスケールは圧巻で、写真では表現できない大きさ・迫力を感じ、筆舌に尽くしがたい景観でした。地下神殿に水が取り込まれるのは年平均7回程度だそうで、2015年の台風17号、18号の時には1900万 m^3 の水が流入しました。それを排水するポンプは、1秒間で200 m^3 （25mプールの水量）の水を排水する能力を持っているそうです。地下神殿見学後、水が江戸川に排水される排水樋管、トンネルを掘削したシールドマシンを見学して、今回の見学は終了しました。

見学後は電車で浦和へ移動、懇親会を開催しました。佐藤さんは残念ながらご都合によりご参加されませんでした。壮大な地下神殿見学の興奮もさめない中、懇親会参加メンバー5名はプレミアムモルツで乾杯、徳川家康の治水事業以降大きく変わった河川の話、治水の話、そしてお互いの近況報告などで盛り上がり、雑炊で今回の見学会・懇親会を締めました。

（石川達夫 記）



◆会社ニュース ピックアップ

HORIBA Report 2023-2024

※QRコードからアクセスできます。



5月9日付けで堀場製作所ホームページに「HORIBA Report 2023-2024」が掲載されました。「価値創造サイクル」は、9～10ページに掲載されています。



2053年に実現したい未来像

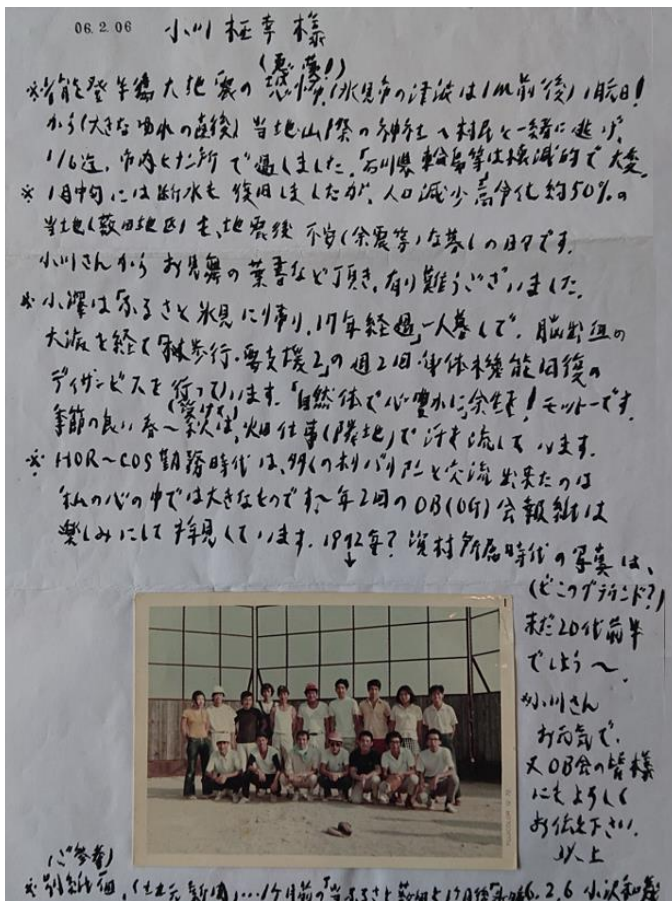
創立100周年にあたる2053年にHORIBAが実現したい未来を「Our Future」として、2023年1月28日に創立70周年記念式典で、Our Future Projectリーダーのダンさんから世界中のホリバリアンに向けて発表されました。HORIBAの想いを正しく伝え、共感していただける人たちを増やしていきたい。その想いを起点として、文脈を明文化し、広く発信していくためにOur Future特設サイトがつけられました。サイトに掲載されている動画とともにご覧ください。



近況報告（小沢さん）

2024年元旦に発生した能登半島地震。半島つけ根にある氷見市で被災された小沢さんより、無事の連絡を伝える手紙が OB会副代表の小川さんへ届きました。ふるさとに戻られて17年、ご自身はご無事でしたが、ご自宅が港に近い藪田地区にあり、液状化による陥没や隆起で被災されました。6月3日にも最大震度5強の余震がありました。国や県の支援による1日も早い復旧により、生活再建がなされることを祈念させていただきます。

※小沢さんから小川さんへのお手紙



※旧びわこグラウンド（現 湖西浄化センター）での1コマ前列向かって左から3人目が小沢さん資材部所属時代



受賞報告（小川さん）

日本春蘭を栽培して約35年になります。世間では、「ジジババ」と呼ばれ京都の周辺の山々にも自生しているシンビジウム属の蘭です。住まいがマンションですので公団の一室を借り、約300鉢をセカンドハウスで栽培しています。毎年、京都や大阪の展示会、以前は東京全国大会や世界蘭展示会にも出品した事もあります。今年は、宇治植物園で開催の2024



春蘭展示会に出品、70鉢の中から『藤娘』で京都府知事賞を頂きました。これからもボケ防止と思い、頑張って栽培を続けて行く所存です。（小川 柗幸 記）



味どころ紹介

クルマ好きにはたまらない名店、それが「和食 絆」さん。琵琶湖大橋からクルマで約10分。JR 湖西線小野駅から徒歩6分にお店はある。今回は天婦羅定食を注文する。ガラスの仕切り越しに昭和のクルマを眺めながら揚げたてサクサクを頂く。とても美味しい。食後にはフルーツのデザート。嬉しいサービスでした。店構え、スタッフの皆さんの心配り、そしてお料理。すべてが素晴らしく、クルマ好きにはたまらない、超オススメのお店でした。



食後は、いよいよ Crystal Museum の見学。ガラス製仕切の向こう側にある展示エリアへ移動し、昭和の懐かしい名車を、近くから隅々まで見せていただくことができました。



ウィンドウ越しに★フェアレディSRL310



★コスモスポーツ

★S800



後方壁面に飾られている絵画は、清水寺の舞台を曲面キャンバスに描かれていました。風景画家ブライアン・ウイリアムズさん作

★117クーペ



★TOYOTA2000GT

竹生島をバックに描かれた TOYOTA 2000GT の絵画もウイリアムズさんの作品でした。

(沢本昌順 記)

- ◎名称 和食「絆」【Crystal Museum】
- ◎住所 滋賀県大津市湖青2-20-1
- ◎電話 077-509-7091(予約可)
- ◎お休 月曜、火曜
- ◎駐車場 あり

◆OB会だより

ホームページの紹介

堀場製作所OB会のホームページでは、年間行事計画をはじめ、総会、幹事会、ボランティア活動、キャリア活動、クラブ活動など、各種行事の案内や活動報告を掲載しています。



より魅力あるホームページに育てるために、会員からのご意見、ご提案をお寄せください。

◆ホームページアドレス <http://horiba-ob.com>

※「堀場製作所」「OB」で検索ください。

◆堀場OB会メールアドレス horiba.ob@gmail.com

OB会入会手続きについて

堀場製作所OB会への入会手続きは、下記手順でお願い致します。

- ①入会希望者は「入会申込書」「入会のお誘い」を堀場製作所OB会ホームページよりダウンロード
- ②「入会申込書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出
幹事会審査を経て、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付させていただきます。
- ③入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込
以上で手続きは完了です。不明点等がございましたら、代表幹事、幹事へお問い合わせください。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

OB会員の皆様へ

OB会員の皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。堀場製作所OB会ホームページトップページの「OB会入会手続

き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせください。

寄稿について

会報に掲載する寄稿文を募集しています。テーマは特に決めていません。

- ◎旅行の感想
- ◎地域での活動
- ◎地域の名所・旧跡の紹介
- ◎地域の祭り

など、身近なテーマを気軽に寄稿願ひ致します。会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合、おおむね下記の文字数でお願い致します。

- ◆会報へ寄稿文 150文字以内
- ◆ホームページへの活動報告 800文字以内
- ◆写真は必ず1～2枚添付ください。
- ◆寄稿は10月末、4月末を目途に提出願ひします。会報は年2回発行します（6月、12月）。
- ◆著作権について
 - ・書籍から引用の時は出典を明記してください。（発行元、書籍名、著者）
 - ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得てください。
- ◆活動報告は行事終了後、直ちに報告願ひします。
- ◆投稿者には、ささやかながら図書カード1,000円分を進呈させていただきます。
- ◆送付先 会報事務局編集責任者 沢本 昌順
メールアドレス horiba.ob@gmail.com
〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2
堀場製作所OB会 会報事務局宛

編集後記

今回の会報より、発行月を6月、12月へ変更させて頂きます。世間の新年度が始まる春先は行事が重なり、秋はOB会の年度がわりなど、多忙な時期と重なるために見直しをさせて頂きました。（沢本昌順 記）